

「じゃがいものうち」通信 NO.94. 2022.3.30

～障害者と共に生きる仲間たち～ NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga> 代表 楯篤雄

ブログ: <http://blog.canpan.info/jagaimo/>

QRコード



公益財団法人森村豊明会様より助成を受けて

待望のトラクターを購入しました。「芋堀り機・草刈り機（モア）」もついている優れモノです。

じゃがいも掘りやウコン掘りが楽になり、もっとたくさんの作付けが出来て、工賃アップに繋がります。ありがとうございました。



「みんなのおうち」コーナー

安藤 亮

みんなのおうち利用者さんは現在、障害サービスで4名(うち1名はB型併用)となっています。2022年も、はや3か月が過ぎようとしています、いまだに世間は日々の新型コロナウイルス感染状況で騒いでいる状態。屋久島も同様に何とも楽しくない空気が漂っています。さて、今年はどうなることやら、あまり大きな期待はせずに何か良い面白い企画がないかと皆でいろいろ考えつつ過ごしていきたいと思います。

会員の皆様からも良いご提案がありましたらお気軽にご連絡お願いいたします。



★ワークショップ

2年前ヤマト福祉財団様より人形劇の公演に対する助成金を受けて、「デフパペットシアター・ひとみさん」とのオンラインワークショップが開催されました。みんなのおうちと工房、スタッフ宅に分かれて人形の顔と楽器を作りました。



「グループホーム」コーナー

☆なごみ荘

日高幸子

現在、入所者4名、体験入所者1名の定員5名の小さな障がい者対象のグループホームです。入所者のお世話、相談をさせていただく世話人は、今は4名います。入所者は昼間は各自が、デイサービスに出かけ、個々にあった介護を受けたり、作業をしています。いろいろなことがあります、入所者が自宅に近い状況で世話人との信頼関係のもと、コミュニケーションのとれた明るいグループホーム生活が送れるように、世話人が緊張感を持ち、入所者の状態観察・状況把握を行っていかねばと思っています。コロナ禍が落ち着いたら皆様との交流もできればと思っています。その際は皆様見学・遊びにとお越しくされれば嬉しいです。また入所検討の見学をしてみたい、働いてみたいという方はお声を掛けてください。よろしくお願いたします。

○なごみ荘で1年近く世話人をしてくださった安田雅弘さんの感想です。

なごみ荘は重度の障がいを持つ人はいないため、夜間は一人での支援となり最初は心配もあったがみんなが行っていることなのでとしばらくやってみようと考えた。拘束時間は長いものの、時間的余裕があるので自分のペースで仕事ができる。各利用者さんにとってのサポートを自分で考えてできる（すべてではないが・・・）というのもやりがいのあること。

障がい者介護は自然や物を壊したりして造るものではなく、社会でお金を回すという物々交換的な仕事だということもやりがいのある仕事だと思う。（ただ自分には夜勤という仕事は合わなく、体調が崩れていってしまう。休みが続くと体が必然的に元に戻ろうとするが、それがジレンマとなり精神的・肉体的にも悪循環を起こすなどの問題もでてきてしまう。もう少し若ければなんとかできたのかも・・・？）様々な人との関りは苦ではなく楽しいことの方が多かった。人により様々な考えがあり、支援するうえで各自の考えをどこまであてはめるべきかということが自分には課題で難しい面でした。

☆月見荘

野口美恵子

現在、男性4名定員いっぱい入所しています。世話人は朝と夕方だけ入って食事の支度、掃除、洗濯、入所者の方の相談等を行います。11月から新しい仲間が増え、とても賑やかになりました。毎日当番制でニワトリの世話をしたり、カンパシあってベル（月見荘の猫）の餌を買ったり、庭では数種類の野菜を育てていたり。お互いの距離をうまく取り合う工夫をしながら、台所に集まるとコーヒーをすすめ合い、気ままにおしゃべりしています。体に良い食事にも関心が高く、玄米食やベジタリアン志向に傾きつつあります。世話人も料理にひと工夫を求められることしばしばです。

☆にじいろの樹

★豚みそ作り



じっくり煮詰めます



豚肉切り

★たんかんビンジュース作り



★畑作業



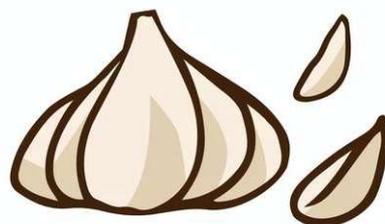
「さといも収穫」



「堆肥作り」



「ニンニク順調に成長」



★みそ作り



「大豆を煮る」



「クリーム状につぶす」



「発酵した麦麴と混ぜる」



「混ぜたものを機械にかけてさらになめらかに仕上げる」



「容器に詰めます」



「ぎゅーぎゅーに」



「きれいに後片付け」

行事報告

★「デフパペットシアター・ひとみさん」とのオンラインワークショップ
2月25日 10:00～

行事予定

★2022年度総会 5月28日

求人中!

○みんなのおうち 看護師・給食担当
○にじいろの樹 支援員・グループホーム 泊り出来る方
詳細はハローワークインターネットサービスをご確認頂くか、じゃがいもの
おうち0997-47-3588までお問合せください。

★長年に亘り「じゃがいものおうち」を支えてくださった安藤さんが
新たな道に進むことになり、島を離れることになりました。
これまでを振り返り寄稿いただきました。

~~~~~ 「じゃがいものおうちでの10年を振り返って」 安藤 亮 ~~~~~

じゃがいものおうち じゃがじゃがやってる じゃがいものおうち じゃがじゃがうるさい  
じゃがいものおうち でもたのしそう 何をやってるの知りたいな どこでやってるの教えてよ  
じゃがいものおうち 介護をやってる じゃがいものおうち 畑もやってる  
じゃがいものおうちは 泊まりもやってる じゃがいものおうちって ほんとたのしそう  
場所は尾之間 みんな見に来てね

これは私がここに勤め始めて6.7年たち、グループホームができた頃に作った歌です。仕事にも普段の生活にも慣れ、精神的に割と余裕が出てきた頃でしょうか。

じゃがじゃがと何とも不器用で、あまりカッコよくなくて、うまく行かないことだらけだけど、なぜか楽しくて自由に居心地のよい場所だなあと心底思った当時の心境をそのまま歌にしたように記憶しています。

仕事を始めてすぐの頃は何だか分からず言われた通りにしていた介護全般の仕事は1.2年で慣れましたが、自分自身はまだまだ自由にのびのびという感じにはなっていませんでした。スタッフとの関係では上手くいく人いかない人がいましたが、それは人間として生きている以上当たり前のこと。でも、頭では分かっている、楽しいことだけではなく、嫌な気持ちになることが何度もありました。それはどこに生きても同じことで、何でも手に入る都会でも、屋久島のような不便な町でも、これから引っ越していく先でもそうでしょう。

屋久島での生活10年間を振り返ってみて思うことは、10年は長いようで短いようで、やはり少し長かったのかなということ。私が入った時のじゃがいものおうちはまだ15.6才の中高生。その子がもう25.6才の社会人になるわけですから立派ですね。じゃがいものおうちとともに成長した10年だったように思います。

さて、これからの10年はどうなっていくのでしょうか。私も、じゃがいものおうちも行く末は分かりませんが、どんな世の中になろうとも楽しく自由にのびのびとじゃがじゃができたらと心から願っています。



安藤さん送別会



## 2022年度 会費納入のお願い

日頃より、「じゃがいものおうち」の運営に対しまして、ご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

私たちの活動は会員の皆様方の会費と寄付に支えられております。

今後、活動をさらに強化していくためにも、引き続き会員継続と会費の納入をお願い申し上げます。

年会費は下記の通りです。

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 一般会員     | 3,000円/口 (議決権有) |
| 家族会員     | 1,000円/口 (議決権有) |
| 賛助会員     | 2,000円/口        |
| ボランティア保険 | 350円/口          |

振込先=郵貯銀行「じゃがいものおうち」 記号：01770 3 番号：93617

振込用紙を同封させていただいております。じゃがいものおうちにて直接納入いただくことも可能です。

お知り合いの方にもご紹介いただければ幸いです。よろしく申し上げます。

## 感謝録 (R3.11~R4.3 順不同・敬称略)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものおうち、みんなのおうち)

山田由紀子、桑山善右衛門、桑山道子、渡辺一夫、渡辺まみよ、大原貞子、山崎恵、渡辺健一、平野律子、浜添愛子、山田めい子、鈴木敏道

◆タンカンジュース原材料寄付者◆日高望 堀之内四男 笹川寛樹 丸山正幸 南真奈美  
若月愛美 永田豊廣 Moss Ocean House 小屋カフェ日と月とテクノス西日本株式会社

## 編集後記

新型コロナウイルスは年明けから屋久島では猛威を奮っています。クラスターもすでに4件確認されており、スタッフ・利用者の皆様も油断することなく「消毒・換気・密を避ける」ことを徹底継続していただきますようお願いいたします。

利用者の増加に伴い「みんなのおうち」「にじいろの樹作業所」が手狭になったきたために、新しい場所を確保することが課題になっています。グループホームの需要もあり利用者の皆様へのよりよい環境の提供を検討しているところです。会員の皆様も不動産情報提供にご協力いただければ幸いです。  
( 軻 和美 )



